

2025 年度事業報告書

自 2025 年 4 月 1 日

至 2026 年 3 月 31 日

一般社団法人 コンテンツ海外流通促進機構

(CODA)

〔事業運営〕

1. インターネット上の海賊版の侵害対策

(1) 著作権教育・意識啓発

① 国内の一般消費者に向けた広報啓発活動事業

- ・ 経済産業省および文化庁の受託事業で実施した各活動については、ニュースリリースや原稿執筆を行い、報道機関や関連団体・企業等に告知し、広報啓発に努めた。
- ・ 8月に、霞が関に所在する各府省庁等において、夏休み中の子どもたちを対象としたイベント「こども霞が関見学デー」が開催され、CODAは文化庁が主催、実施するプログラム「キャラクターデザイナーのせかい」に参加し、イベント運営に協力した。

② ACA（不正商品対策協議会）との連携

- ・ 不正商品対策協議会の代表的な活動として、全国各地で一般消費者を対象とした知的財産権保護がテーマのイベントである「ほんと？ホント！フェア」を、神奈川県、北海道、徳島県においてそれぞれ実施し、計62回の開催を数えるに至っている。

③ 北京事務所における知財関連情報の収集と発信

- ・ 北京事務所により、情報収集した中国の知的財産保護等に関するニュースを、毎月発行するニュースレターに掲載し、会員企業・団体に情報共有を行うなどした。
- ・ 北京事務所は日本コンテンツの中国ライセンスからの依頼に基づき、権利の帰属を証明する著作権認証証明書を発行しており、10作品の証明書を発行した。

④ PBL型教育プログラム「10代のデジタルエチケット」の実施

- ・ 未来を担う若者に向けてコンテンツへの理解を促進し、安全で責任あるデジタル環境を確保するため、デジタル市民としての権利を享受するうえで欠かせない倫理や共感などを主体的且つ自律的に理解するための意識啓発の取り組みとして、コンテンツ保護を自らどのように行うことができるのか、を考えるプロジェクト型学習（Project Based Learning）の授業プログラム「10代のデジタルエチケット」を日本全国4ヶ所の高等学校で実施したうえでプログラム内容の評価を行った。また、1月には10代がデジタル社会におけるマナーや価値観について学び合うことを目的として、日本の高等学校とマレーシアの高等学校の特別オンライン交流会を実施し、学校紹介に加え、「10代のデジタルエチケットプログラム」を通して制作したキャッチコピーや映像作品の成果発表を行い、デジタルエチケットをテーマとした意見交換会を実施した。
- ・ 12月24日、「10代のデジタルエチケット CREATIVE AWARD 2025」の審査結果発表イベントをオンラインで開催し、日本全国から応募のあった数多くの作品の中からグランプリ

りほか各賞を発表した。また、授賞特典としてグランプリ受賞者にプロのクリエイターによる特別講座を開催し、参加者らが考案して投票により選出されたキャッチコピーを元に、プロのイラストレーター・キャラクターデザイナーによる啓発ポスターを制作した。

⑤ NFTに関する基礎知識を学べる解説動画「NFTって何？」配信

- ・ 昨年度に制作した NFT に関する基礎知識を解説するリーフレットおよび啓発 WEB ページの内容をもとに NFT について知っておきたい基礎知識を、初めての方もわかりやすく学べる解説動画「NFT って何？」を作成し、CODA 公式 YouTube チャンネルで配信を行った。

⑥ コンテンツの企画と侵害をテーマにしたカードゲーム「HIT PLAN」を開発

- ・ 著作権侵害（海賊版）問題について理解を深めるための啓発ツールとして、ゲームを通じてコンテンツとその侵害の問題への理解を楽しみながら感得できるカードゲーム「HIT PLAN」を企画・開発した。映像、出版、ゲーム、グッズなど多様なコンテンツのメディア展開や侵害対策の意義について、プレイヤーが戦略を考えながら学ぶことができるゲームとして、今後、児童向け施設などへの配布を検討しているほか、文化庁のホームページでは、プリントアンドプレイ用の PDF データの公開を予定している。

⑦ 一般消費者向け啓発マンガを制作

- ・ コンテンツを生み出すクリエイターやその消費者、クリエイターを支える人に焦点を当て、コンテンツを生み出す苦労やコンテンツが生み出す感動、また海賊版による被害などの諸要素を描いた短編のマンガの制作を行った。マンガでは実在の原作者、マンガ家、雑誌、IP を題材に、メインストーリーの作者編のほか、スピンオフとして編集者編、読者編の制作を行い、コンテンツを取り巻く課題について多角的にて感得できる内容となっている。

(2) 国際連携・国際執行の強化

① アメリカ映画協会（MPA）等との連携

- ・ 7月に、MPAのアジア太平洋地域の拠点であるシンガポールにおいて侵害対策会議が開催され、ACEからの参加要請を受けて、パネルディスカッションに参加し、当機構の取り組みについて発表を行った。
- ・ 平成26年にMPAとオンライン侵害対策に関する協力や情報共有についての覚書を締結して以来、ロサンゼルスにあるMPAのオフィスを毎年訪問し意見交換を通してオンライン侵害や侵害対策に関する情報収集に努めている。今年度は12月にワシントンDCにあるMPA本部を訪問しMPAの海賊版対策の責任者と意見交換を行った。

- ・ 2月にMPAのEMEA（ヨーロッパ、中東、アフリカ）オフィスを訪問し、ヨーロッパにおける著作権侵害やその対策に関する最新情報の収集を行うと共に、共同エンフォースメントの実施について協議した。
- ・ またMPAの日本支部となる日本国際映画著作権協会（JIMCA）やMPAのアジア・太平洋支部との間では月一回のペースで定期的にオンライン会議を開催し、最新情報を共有して連携強化を図った。

② 中国・アリババグループ傘下の淘天グループと合意書（MOU）を締結

- ・ 10月17日、当機構とアリババグループ傘下のECプラットフォーム淘天グループは、偽キャラクターグッズ対策を目的とした正規コンテンツの流通促進および知的財産権保護の強化に向けた合意書（MOU）を締結した。本合意書の締結により、CODAと淘天グループは、それぞれの持つ知見とネットワークを活かし、知的財産権保護の強化、正規コンテンツの流通促進、そして正規ビジネスを通じた健全な市場の実現に向け、幅広い分野で協力関係を築いていくものとした。

③ インド・テルグ映画商工会議所海賊版対策室と合意書（MOU）を締結

- ・ 11月27日、当機構とインド・テルグ映画商工会議所(TFCC: Telugu Film Chamber of Commerce)海賊版対策室は、オンライン上の著作権侵害対策を目的とした知的財産権保護の強化に向けた合意書（MOU）を締結した。本合意書の締結により、CODAとTFCCは、それぞれの知見・経験ならびに従前からのネットワークを活かし、知的財産権保護の強化に向けた情報共有と協力関係の構築を推進していくものとした。

④ 中国政府機関など中国関係機関との連携

- ・ 4月に中国・北京において、中国著作権協会および著作権協会の会員8社・団体などとの間で、日中における著作権保護の強化などに関する意見交換会を開催した。
- ・ 5月に中国・広州において「2025年世界IP経済発展大会・グローバルIPライセンス博覧会」が開催され、組織委員会の招待を受けて基調講演を行った。
- ・ 5月に、CODA北京事務所を通じて対話ルートを構築した中国著作権保護センターの張有立副主任をはじめとする4名の代表団がCODAに来訪し、CODA会議室において意見交換会を開催した。
- ・ 7月、在中国日本国大使館公邸レセプションホールで、「日本アニメ・出版・映画訪中団」を招いた金杉憲治駐中国大使主催のレセプションが開催され、CODA北京事務所が講演を行った。
- ・ 7月、CODAは中国出張時に、中国最大級のIT企業であるアリババグループからの招聘を受けて同社本社を表敬訪問し、相互理解を深めるとともに、今後の連携の重要性を確認した。その後、この協議を具体的かつ戦略的な協力関係へと発展させ、実行に移すものとして前掲の通り10月に淘天グループとの合意書締結に至った。

- ・ 9月に中国・北京において、中央宣伝部版權管理局(国家版權局)と意見交換会を開催した。
- ・ 9月に中国・北京において、中国版權協会と日中における知的財産保護強化のための連携に関する意見交換会を開催した。
- ・ 9月、当機構は中国・北京へ出張の際、在中国日本国大使館を訪問し、中国における日本コンテンツの侵害状況やその対策・課題などについて意見交換会を開催した。
- ・ 9月に、中国共産党中央宣伝部、北京市人民政府などが主催する「2025年北京文化フォーラム」の開催期間中、北京印刷学院で「著作権サロン」が開催され、北京市出版版權協会からの招待を受けてディスカッションに登壇した。
- ・ 10月に中国・青島において、中国版權協会と共催の「日中著作権保護シンポジウム」を開催した。
- ・ 10月に中国・青島において、国家版權局が主催する「第10回中国国際著作権博覧会」が開催され、CODAはブースを出展して参加した。

⑤ 韓国著作権保護院(KCOPA)など韓国関係機関との連携

- ・ 9月に東京において、韓国著作権海外振興機構(COA)会員と当機構会員の交流会を開催し、双方の放送局会員、及びウェブトゥーン/マンガの出版社会員が集まり、それぞれの分科会に分かれて協議を行った。
- ・ 11月にKCOPA本部において、当機構とKCOPAとの間で定期会議を開催し、それぞれの海賊版対策の最新動向や課題について情報共有をと意見交換を行った。
- ・ 11月にソウルにおいて、当機構とCOAとの間で定期会議を開催し、それぞれの海賊版対策の最新動向や課題について情報共有をと意見交換を行った。

⑥ 国際刑事警察機構(ICPO)との連携

- ・ ICPOが令和3年に開始したオンライン侵害対策プロジェクトI-SOP:(Interpol Stop Online Piracy)に関して、警察庁とともに連携し、日本コンテンツの海賊版サイトに関する情報共有を行うなどした。
- ・ 7月にインドで開催されたオンライン侵害に関するICPOの国際会議に参加した。
- ・ 11月に、韓国で開催されたオンライン著作権侵害に関するICPOの国際会議に参加した。

⑦ 海外における知的財産権保護基盤の構築

- ・ 5月にインドのムンバイにおいて、インド政府主催のメディア・エンターテインメント「World Audio Visual & Entertainment Summit (WAVES 2025)」が開催され、当機構がパネルディスカッションに登壇した。
- ・ 8月に台湾の内政部警政署刑事警察局局長を表敬訪問し、これまでの日本コンテンツ保護への貢献に対する謝意を伝え、今後の日本コンテンツ保護への更なる協力を依頼し、さら

なる協力が約束された。

- ・ 8月に香港・北角において、中華人民共和国香港特別行政区政府香港海関（香港税関）本部を訪問し、日本コンテンツに係る権利侵害事件への捜査・摘発に対し謝意を表するとともに意見交換会を開催した。
- ・ 11月に、インド・テランガーナ州において、テランガーナ州副大臣を表敬訪問し、前掲の当機構とTFCCの間で締結したMOUの目的についての報告を行い、大臣はテランガーナ州政府として両団体への支援を約束した。

⑧ 国際執行プロジェクト(CBEP)による海賊版サイト運営者の特定

- ・ インターネット上においては、匿名性や秘匿性を売りにするとドメイン登録会社や防弾ホスティング、コンテンツデリバリーネットワークなどのサービスも数多く存在しており、運営者の特定は困難を極めている状況を受け、海外の悪質な海賊版サイトに対する国際執行の強化を目的として、サイバーセキュリティの専門家と連携し、サイト運営者を特定するためのデジタルフォレンジック調査、オンラインプロファイリング/オープンソースインテリジェンス調査を実施し、複数の運営者、または関係者と思われる人物の情報を入手・特定した。その結果、悪質な海賊版サイトに対する共同エンフォースメントなどの実施により、世界50カ国以上の言語に翻訳し全世界を対象に日中韓の漫画を違法配信する中国の世界最大の海賊版サイト「BATO.TO」など計61サイト（令和3年度から累計145サイト）を閉鎖することに成功した。また、海賊版サイトが著作権侵害を行っている証拠の保全のため、専門的知識が必要な作業についてもエシカルハッカーの協力を得て実施した。
- ・ 3月に参議院議員会館講堂にて「インターネット上の海賊版対策の実態／CODA活動報告会」を開催し、CODA会員社、関連企業・団体、各府省庁、メディアなどを対象に、今年度で発足から丸5年目となる国際執行プロジェクトのこれまでの実績について、最新の摘発事例を含め発表を行った。

⑨ その他共同エンフォースメント手続き等

- ・ 中国、ベトナム、ブラジル、フランス、イギリス、台湾、日本等の各国・地域にて、海賊版サイト、海賊版アプリ、偽キャラクターグッズ、SNSリーク、トレントサイト等における日本コンテンツの権利侵害に対し、広範な調査および対策を実施した。
- ・ これらの取り組みのうち、成果が認められた事案については、適宜リリースとして公表を行い、現在も継続的な対策が必要な案件については、引き続き調査・対策を実施している。

(3) 広告出稿の抑制

- ・ オンライン広告関連3団体(JIAA、JAA、JAAA)との協議を継続し、各団体委員会の委員

長が参加する「合同会議」を開催するとともに、実務者による「定期協議」を実施し、著作権に関する要警戒リストを共有し海賊版サイトに対する広告出稿抑止に努めた。

- ・ 世界知的所有権機関（WIPO）が構築・管理する侵害サイトのデータベースプラットフォームである「WIPO アラート」へ侵害情報の提供を行った。

(4) フィルタリング

- ・ 海賊版サイトへのアクセスを抑止するため、コンピューターセキュリティーソフトのフィルタリングの対象として悪質な海賊版サイトの情報を、セキュリティ関連の2団体の会員社、フィルタリングサービス提供企業1社に共有した。

(5) その他

① 自動コンテンツ監視・削除センターによる対策

- ・ 平成23年より、インターネット上に違法アップロードされているコンテンツの検出を行い、権利者の削除要請通知の自動化を図る「自動コンテンツ監視・削除センター」（以下「削除センター」と記す）を運営している。
- ・ 削除センターを通じて行われた要請については、システムを用いて自動で削除状況の確認を行い、削除率が低いサイトについては、UGCなど事業者が存在する場合は個別に協議を行い、悪質な海賊版サイトの場合については広告抑制やフィルタリングの対象とするなど、総合的な対策を行なっている。今年度の実績（3月末時点）としては、46サイトに対して合計677,815URLについて削除通知を送付し、614,746URLが削除された（削除率90.70%）〔1〕。

② 著作権管理データベースの構築

- ・ 当機構北京事務所が中国においてNGO法人として登録され、令和4年1月に業務を本格始動したことから、「日本の著作物の著作権証明（認証業務）」、「会員企業の正当な権利保護」の一環として、中国公安局等より中国国内で違法に流通する日本製コンテンツについて、権利の帰属先及び権利許諾の有無の照会が寄せられている。照会の対象となっている作品数が膨大であることや、作品の権利者が「製作委員会」であり、権利者の特定が容易ではないことなどから、権利者の業務負担が大きいことから、対応作業の労務負担を減らし、作業効率を高めるため、令和4年度に、権利照会DBを開発した。
- ・ 今年度は、これまでの照会対応結果を当該DB内に蓄積するとともに、中国から寄せられる実際の照会案件について、DBを活用した確認作業を実施した。今年度は中国公安省などから12回の権利照会依頼があり、権利の帰属、許諾の有無について回答している。
- ・ また近年、マンガの海賊版サイトに関する権利帰属確認の照会が増加していることを踏まえ、従来の映像作品を中心としたDBに加え、マンガ作品に関するDBを新たに構築し

た。あわせて、多言語のタイトル情報の追加、過去の登録情報に基づき誤登録を防止するロック機能の開発、追加機能に対応した利用者向けマニュアルの更新等を実施した。

③ 著作権侵害サイト自動情報収集システム（Piracy Spider）の構築

- ・ 海賊版サイトが日々増加し、これらサイトに関連する情報も複雑化する中、サイトに関連する情報の分析手法の高度化が求められている。サイト情報を横断的に分析することにより、変化を迅速に察知するとともに、これまで把握されていなかった新たな関連情報を発見することなどが期待される。
- ・ また当機構が運用する削除センターや、国際執行プロジェクト（CBEP）、また会員社からの情報提供等を通じて得られる独自情報に加え、Similarweb 等から取得される外部のサイト分析データを集約し、権利侵害の全体像を網羅的かつ迅速に確認・分析できる統合的な環境の整備が急務となっていた。
- ・ こうした背景を踏まえ、権利侵害サイト自動情報収集システムの構築を実施した。本システムは、インターネット上の情報を自動的に巡回・収集する「スパイダリング」技術を用いて、海賊版サイトに関する各種情報を収集・分析することを目的として構築するものであり、「Piracy Spider」と命名した。
- ・ 本システムでは、海賊版サイトのドメインやサーバー、広告 ID などの関連情報に加え、サイト間の関係性やアクセス動向などのデータを自動的に収集・分析し、複雑化する海賊版サイトの運営実態や変化の兆しを正確に把握することを目指している。今後、機能の調整および運用体制の整備を進めた上で、令和 8 年度から本格稼働を開始する予定である。

④ 生成 AI における侵害関連対応

- ・ 近年、生成 AI の急速な発展に伴い、AI による学習と権利保護のバランスについて継続的な議論が行われる中、令和 7 年 9 月 30 日、OpenAI 社により高度な動画生成 AI 「Sora2」が発表された。同サービスにおいては、簡単なプロンプトを入力するだけで、日本の既存の著名なコンテンツに酷似した高品質な動画が容易に生成されてしまうという事態が発生し、権利者の権利を著しく侵害するとして大きな社会問題となっている。
- ・ これを受け、当機構は、10 月 27 日、OpenAI 社に対して「Sora2」の運用に関する要望書を提出した。
- ・ さらに懸念すべき点として、「Sora2」の発表以降、他社からも強力な動画生成 AI サービスが次々とリリースされている。これらサービスにおいても同様の無断学習や類似コンテンツ生成のリスクがある。特定のプラットフォームに対する個別対応だけでは問題の根本的な解決が難しくなっており、生成 AI サービス全体に対する監視体制の強化が急務である。

⑤ 国際知的財産保護フォーラム（IIPPF）への参加

- ・ IIPPF の各会合（総会、企画委員会、中国 PJ、インターネット PJ、啓発 PJ）に参加し、知的財産権侵害問題に関する情報の交換及び共有を図るとともに、その成果を当機構会員に適宜共有した。

⑥ 侵害対策に係る委員会等の実施

- ・ 共同エンフォースメント委員会・法制度委員会
 - 共同エンフォースメント委員会では、海外における海賊版問題について、会員社の著作権や当機構の団体商標（CJ マーク）の商標権に基づく共同エンフォースメントの実施、また正規版流通のための環境づくり・インフラ整備を目的として活動している。また法制度委員会は、国内外における著作権関連のトピックやコンテンツ業界の新たな動向や取組みなどを各界のテーマとして取り上げ、業界を超えた著作権・商標権侵害対策等に関する事例の共有・把握すること、及び現地当局への法律等制度面での改善要請を目的に開催している。今年度は共同エンフォースメント委員会を 3 回、法制度委員会を 3 回実施した。
- ・ 偽キャラクターグッズ対策委員会
 - 我が国が世界に誇るコンテンツ IP に関連する偽キャラクターグッズが世界中の電子商取引市場などで流通している現状に対し、権利者が一致団結して共同エンフォースメント体制を構築することを目的として「偽キャラクターグッズ対策委員会」を発足し、今年度は、会議を 2 回開催した。
- ・ 団体連絡会
 - コンテンツ関連業界団体が、それぞれ独自の活動として取り組んでいる「侵害対策事業」及び「正規流通関連事業」について、相互に情報を交換・共有し、日本コンテンツ産業界の海外における諸問題の解決等に資することを目的に、今年度は 2 回実施した。

⑦ スマートフォンアプリへの対応

- ・ 前述の通り、当機構は広告関連団体と連携し、著作権侵害の「要警戒リスト」を共有することで、海賊版サイトへの広告出稿を阻止する取り組みを推進している。この広告団体との定期協議において、ウェブサイトのみならず、海賊版アプリに対しても同様の広告対策が必要であることから、今年度はスマートフォンアプリを対象とした実態調査を実施した。

2. 非インターネット上の海賊版に対する侵害対策の実施

(1) 共同エンフォースメントの実施

- ・ 日本コンテンツの海賊版(フィジカル・パイレーツ)にかかわる侵害実態（著作権・CJマ

ーク商標権侵害など)の最新情報を継続的に把握し、効果的な共同エンフォースメントを実施した。中国、香港、台湾では、今年度に43件の取締りが実施され、2,833枚の海賊版が押収された。共同エンフォースメントを開始した平成17年1月から令和7年3月の20年間では、17,518件の取締りが実施され、3,840名が逮捕、約700万本の海賊版が押収されるなどの大きな成果を収めている〔2〕。

3. コンテンツに対する知的財産権侵害の実態に関する情報収集や新たな対策の検討

(1) MPAによるサイトブロッキングの取組

- ・ MPAは数年来世界の様々な国・地域でサイトブロッキングの導入を試みている。その活動をけん引しているのがMPAのEMEA(ヨーロッパ、中東、アフリカ)オフィスとなり、当機構は昨年度に引き続き、2月にMPA・EMEAオフィスを訪問し、ヨーロッパから見た世界の侵害状況及びMPAの活動について情報収集を行った。また、MPAがアジア太平洋地域で進めているサイトブロッキングの取組に対し、当機構はインドやインドネシアにおいて協力を行った。

(2) 海賊版被害実態調査

- ・ アニメ・マンガ等をはじめとする日本発コンテンツの海外売上は、この10年間で約3倍に成長し、令和5年においては約5.8兆円となり、また令和6年6月にまとめられた「新たなクールジャパン戦略」においてコンテンツ産業はわが国の「基幹産業」として位置付けられたほか、2033年の海外売上高の目標が20兆円と掲げられた。今後さらなる海外における正規版コンテンツの広がりを進めていくにあたっては、海賊版が利用される国・地域において海賊版を撲滅していく取り組みが重要となってくることから、世界及び日本の日本発コンテンツの海賊版による被害を調査することにより、今後の侵害対応のあり方を確認し、日本発コンテンツの海外展開の拡大の一助とする。
- ・ 本調査では、3年前に実施した令和4年度調査と比較する形で、デジタル流通する日本発コンテンツの海賊版による被害額の推計を実施した。
- ・ また、近年、日本発コンテンツのキャラクターIPに係るキャラクターグッズの被害が指摘されていることから、今年度は「従来のオンライン上のデジタルコンテンツの海賊版の調査に加えて、偽キャラクターグッズの被害について調査を実施した。

4. 知的財産に係る政府への意見提出など

- ・ 今年度も、昨年に引き続き自民党知的財産戦略調査会において国際執行プロジェクトの

成果報告を行うと共に、内閣官房知的財産戦略本部、内閣官房デジタル市場競争本部事務局が行った意見募集に関して、海賊版対策の強化等について意見をするなどした。

〔組織運営〕

1. 会員の異動

(1) 会員の異動

入会

2025年4月1日付

株式会社 STARTO ENTERTAINMENT（企業会員）

2025年6月1日付

株式会社円谷プロダクション（賛助会員）

2026年1月1日付

アスミック・エース株式会社（企業会員）

会員種別変更

2025年4月1日付

株式会社バンダイ（賛助会員から企業会員へ）

2. 2026年3月31日現在の会員数

企業会員 37社

団体会員 11社

賛助会員：10社/団体

58社/団体

3. 役員の変動

通常総会（2025年6月10日）

就任

理事 瀬戸口 克陽 株式会社 TBS ホールディングス 執行役員

理事 森田 浩章 株式会社講談社 専務取締役

辞任

理事 堀内 丸恵 株式会社集英社 取締役相談役

理事 山下 直久 株式会社 KADOKAWA 取締役 代表執行役

監事 横井 仁 株式会社 TBS ホールディングス 執行役員


4. 2026年3月31日現在の役員数

代表理事	2名
理事	10名
理事合計	12名
監事	2名

2025年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書の「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

<参考資料>

[1] 当機構の海賊版対策における4段階戦略（第1～第4ロケット）



CODA海賊版対策 第4ロケットの発射！！

第1ロケット 2005年1月～ 海賊版対策のスタート

香港において、初めての共同エンフォースメントによる刑事摘発
 累計実績（2005年1月～2026年2月）中国・香港・台湾等において、摘発件数17,515件 逮捕者3,840名 押収枚数7,003,506点

第2ロケット 2011年8月～ オンライン上の海賊版対策のスタート

「自動コンテンツ監視・削除センター」の運用スタート(侵害コンテンツに対する共同削除要請)
 累計実績（2011年8月～2026年2月）削除要請数 合計 5,409,633 URL 中国、仏、米国、韓国など40サイトを対象


第3ロケット 2021年4月～ 国際執行プロジェクトのスタート（悪質な海賊版サイト対策）

グローバル化かつ潜在化するオンライン上の悪質な海賊版サイトに対して、エシカルハッカー、国際弁護士、国際調査会社と連携し、刑事摘発等を行うプロジェクト 累計実績(2021年4月から2026年2月末) 悪質サイトの閉鎖数 145サイト

第4ロケット 2025年4月～ 偽キャラクターグッズ対策のスタート

日本が世界に誇るコンテンツIPを侵害する偽キャラクターグッズを摘発
 2025年5月29日、偽キャラクターグッズ対策委員会を発足（偽グッズに対する共同エンフォースメント体制を構築）

[2] 中国の世界最大の海賊版サイト「BATO.TO」摘発



最近の事例

- 2025年・世界最大の漫画海賊版サイト「BATO.TO」摘発 -

ターゲット

実質世界最大級の海賊版サイト「BATO.TO」等の運営者（中国在住）

被害規模

60サイトを並行運営し
月間3億5,000万セッション
被害額推計約7,700億円

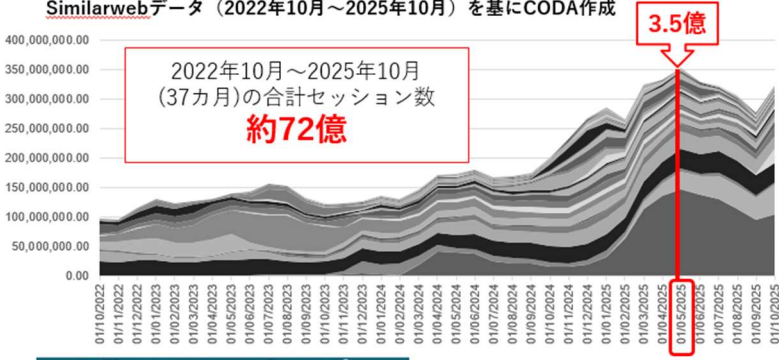
成果

中国上海市公安局による刑事摘発
全60サイトの閉鎖

効果

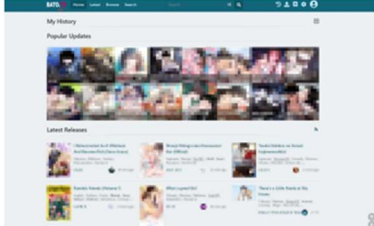
閉鎖直後、正規電子書籍ストアの
売上が約2倍に伸長

Similarwebデータ（2022年10月～2025年10月）を基にCODA作成



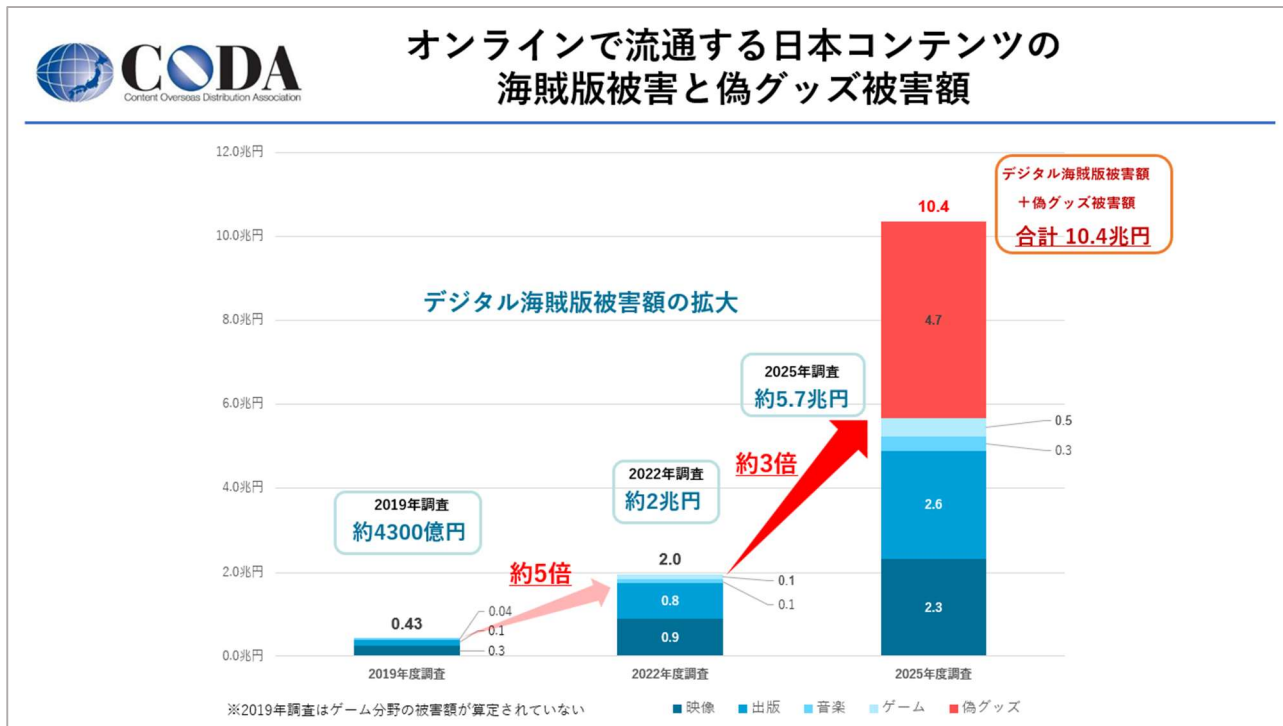
2022年10月～2025年10月
(37カ月)の合計セッション数
約72億

3.5億



- 世界50カ国以上の言語に翻訳し全世界を対象に日中韓の漫画を違法配信
- スキャンレーションによる無許諾翻訳漫画の主要な流通拠点のひとつ

[3] 海賊版被害実態調査



[4] 「自動コンテンツ監視・削除センター」運営実績

①通知及び削除状況累計実績（2011年8月～2026年3月）

	サイト名	削除要請数	削除数	削除率
1	facebook	752,173	724,602	96.33%
2	mp4upload	707,295	707,111	99.97%
3	youtube	661,814	661,070	99.89%
4	bilibili	258,189	255,123	98.81%
5	dramacool	251,274	22,594	8.99%
6	9anime	232,225	112	0.05%
7	gogoanime_3w	188,084	20,273	10.78%
8	dailymotion	179,074	179,048	99.99%
9	okru	178,293	175,816	98.61%
10	mega	155,607	155,607	100.00%
11	mangabank	145,688	22,242	15.27%
12	youku	133,168	132,803	99.73%
13	streamtape	125,179	125,178	100.00%
14	tiktok	118,966	118,863	99.91%
15	pandora	107,903	107,903	100.00%
16	naver	98,849	98,849	100.00%
17	gogoanime	92,850	396	0.43%
18	xstreamcdn	91,345	87,466	95.75%
19	tudou	88,818	88,799	99.98%
20	bilibilitv	80,383	80,381	100.00%
21	googlevideo	79,632	79,525	99.87%
22	VOE	76,817	76,817	100.00%
23	vidstreaming	53,864	0	0.00%
24	mixdrop	48,637	48,636	100.00%
25	LuluStream	45,559	45,559	100.00%
26	KrakenFiles	39,066	34,949	89.46%
27	videokvid	35,815	0	0.00%
28	vidmoly	29,131	16,848	57.84%
29	anitubebiz	25,437	0	0.00%
30	rutube	24,195	23,059	95.30%
31	tunepk	22,110	22,110	100.00%
32	Darkibox	22,092	19,273	87.24%
33	vidoza	20,832	20,704	99.39%
34	ku6	18,126	18,126	100.00%
35	voiranime	16,617	0	0.00%
36	yourupload	14,933	14,933	100.00%
37	4shared	14,749	12,356	83.78%
38	hianime	13,288	0	0.00%
39	gogoanime_tv	12,035	7	0.06%
40	acfun	11,504	10,317	89.68%

41	b9dm	11,048	11,048	100.00%
42	AnimeSaturn	10,725	2	0.02%
43	56	10,716	10,716	100.00%
44	openload	9,603	9,603	100.00%
45	tencent	9,198	9,180	99.80%
46	anitubebr	9,018	226	2.51%
47	9tsu	8,726	8,726	100.00%
48	sendvid	8,436	8,436	100.00%
49	cdapl	8,146	8,118	99.66%
50	fc2	7,470	7,470	100.00%
51	kissanime	7,397	7,397	100.00%
52	animetv	6,707	0	0.00%
53	Anime4up	6,585	0	0.00%
54	hexupload	6,417	6,417	100.00%
55	miomio	5,588	5,570	99.68%
56	chiaanimetv	5,482	320	5.84%
57	streamz	5,431	0	0.00%
58	streamango	5,271	5,271	100.00%
59	terabox	4,876	4,876	100.00%
60	aniwatch	4,703	0	0.00%
61	rapidvideo	4,272	4,272	100.00%
62	miomious	3,866	15	0.39%
63	iqiyi	3,634	3,634	100.00%
64	vimeo	3,474	3,474	100.00%
65	cloud9	3,424	0	0.00%
66	daumtv	3,238	3,238	100.00%
67	hydrax	3,216	0	0.00%
68	anitube	2,870	1,951	67.98%
69	uolmais	2,796	2,796	100.00%
70	clipwatching	2,656	2,646	99.62%
71	AnimeZone.pl	2,149	0	0.00%
72	dilidili	1,995	1,235	61.90%
73	animelife	1,814	0	0.00%
74	letv	1,697	1,697	100.00%
75	pptv	1,556	1,555	99.94%
76	thevideo	1,505	1,505	100.00%
77	estream	1,435	1,435	100.00%
78	douyin	1,385	1,385	100.00%
79	watchanimes	1,121	1,121	100.00%
80	twitter	1,106	1,104	99.82%
81	nosub	938	595	63.43%
82	himado	646	646	100.00%
83	Mirrored.to	589	589	100.00%
84	instagram	377	376	99.73%
85	japantver	242	0	0.00%
86	uploaded	226	226	100.00%

87	internetarchive	210	210	100.00%
88	mhometheater	188	0	0.00%
89	salefiles	186	186	100.00%
90	takefile	180	180	100.00%
91	rapidgator	152	45	29.61%
92	ani88	136	136	100.00%
93	wretch	135	135	100.00%
94	bakotv	120	0	0.00%
95	zippyshare	106	106	100.00%
96	amazonaws	76	76	100.00%
97	weibo	75	75	100.00%
98	saymove	69	69	100.00%
99	anitoday	35	35	100.00%
100	6cn	23	23	100.00%
101	blogme	20	20	100.00%
102	rockfile	20	20	100.00%
103	threads	16	13	81.25%
104	filecrypt	12	0	0.00%
105	zeroshare	12	12	100.00%
106	datafile	2	2	100.00%
107	baidu	1	1	100.00%
108	KICK	1	1	100.00%
	総計	5,477,161	4,347,671	79.38%

②通知及び削除状況 2025 年度実績 (2025 年 4 月～2026 年 3 月)

	サイト名	侵害URLリスト登録		人的モニタリング		総計		
		要請数	削除数	要請数	削除数	要請数	削除数	削除率
1	facebook	2,273	2,273	118,780	118,369	121,053	120,642	99.66%
2	tiktok	7,501	7,501	81,571	81,489	89,072	88,990	99.91%
3	VOE			76,817	76,817	76,817	76,817	100.00%
4	LuluStream			45,559	45,559	45,559	45,559	100.00%
5	KrakenFiles			39,066	34,949	39,066	34,949	89.46%
6	mp4upload			30,073	30,055	30,073	30,055	99.94%
7	mixdrop			27,745	27,745	27,745	27,745	100.00%
8	bilibilitv	17	17	24,400	24,400	24,417	24,417	100.00%
9	streamtape			24,213	24,213	24,213	24,213	100.00%
10	Darkibox			22,092	19,273	22,092	19,273	87.24%
11	bilibili	1,137	1,124	17,635	17,578	18,772	18,702	99.63%
12	yourupload			14,933	14,933	14,933	14,933	100.00%
13	4shared			14,749	12,356	14,749	12,356	83.78%
14	vidmoly			14,411	6,838	14,411	6,838	47.45%
15	youtube	1,157	1,150	12,151	12,083	13,308	13,233	99.44%
16	hianime			13,288	0	13,288	0	0.00%
17	AnimeSaturn			10,725	2	10,725	2	0.02%
18	okru	7	5	10,018	8,515	10,025	8,520	84.99%
19	mega			9,873	9,873	9,873	9,873	100.00%
20	sendvid			8,436	8,436	8,436	8,436	100.00%
21	dailymotion	66	66	7,275	7,256	7,341	7,322	99.74%
22	Anime4up			6,585	0	6,585	0	0.00%
23	hexupload			6,417	6,417	6,417	6,417	100.00%
24	anitubebiz			5,935	0	5,935	0	0.00%
25	terabox			4,876	4,876	4,876	4,876	100.00%
26	voiranime	4	0	4,225	0	4,229	0	0.00%
27	googlevideo	7	7	2,887	2,873	2,894	2,880	99.52%
28	cdapl			2,631	2,603	2,631	2,603	98.94%
29	acfun	391	351	1,831	992	2,222	1,343	60.44%
30	AnimeZone.pl			2,149	0	2,149	0	0.00%
31	youku			1,199	1,199	1,199	1,199	100.00%
32	Mirrored.to			589	589	589	589	100.00%
33	fc2	4	4	522	522	526	526	100.00%
34	rutube			277	264	277	264	95.31%
35	vimeo			259	259	259	259	100.00%
36	vidoza			234	109	234	109	46.58%
37	twitter	228	228			228	228	100.00%
38	douyin	140	140			140	140	100.00%
39	instagram	126	126			126	126	100.00%
40	naver	1	1	109	109	110	110	100.00%
41	iqiyi			110	110	110	110	100.00%
42	weibo	60	60			60	60	100.00%
43	tencent			28	12	28	12	42.86%
44	threads	16	13			16	13	81.25%
45	internetarchive	6	6			6	6	100.00%
46	KICK	1	1			1	1	100.00%
	総計	13,142	13,073	664,673	601,673	677,815	614,746	90.70%

[5] IFACT-GC との中国、香港、台湾での共同エンフォースメント実績

①累計実績（2005年1月～2026年3月）

	取締件数	逮捕者	押収枚数	データファイル
香港	1,339	1,288	1,616,232	210
中国	13,955	304	4,406,236	0
台湾	2,224	2,248	981,064	16,495
合計	17,518	3,840	7,003,532	16,705

②2025年度実績（2025年4月～2026年3月）

	取締件数	逮捕者	押収枚数	データファイル
香港	2	0	293	0
中国	39	0	2,540	0
台湾	2	0	0	166
合計	43	0	2,833	166

以上